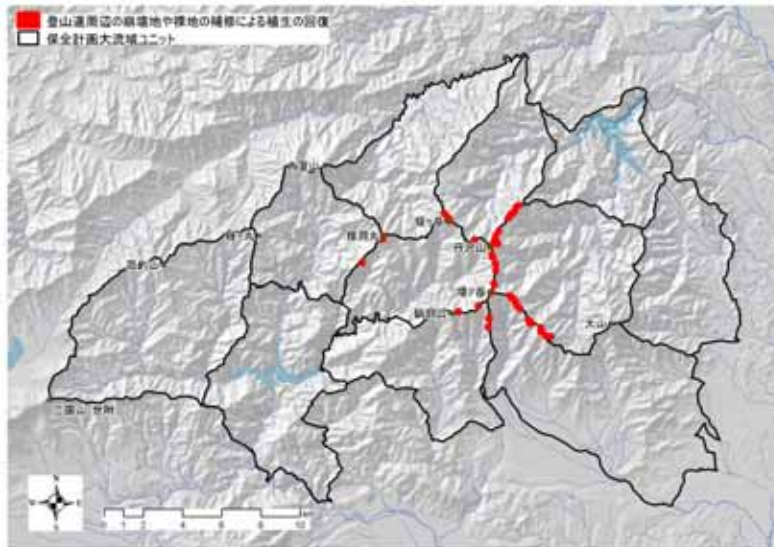


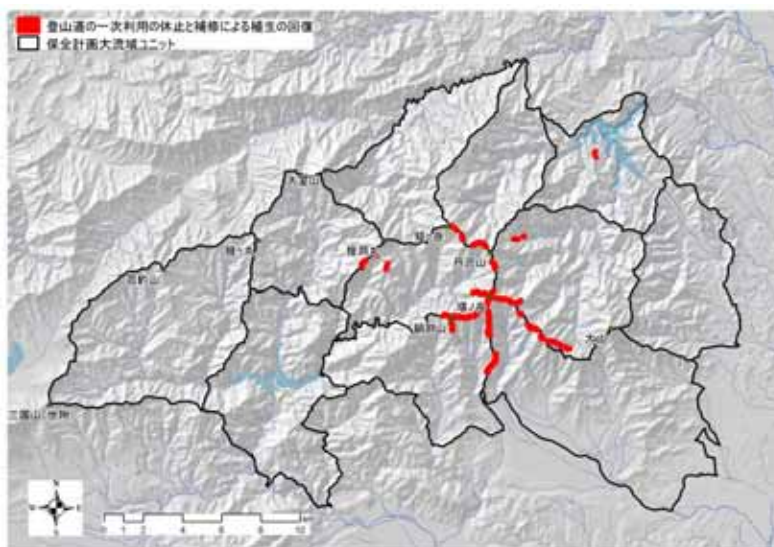
( 6 ) 登山道及びその周辺の崩壊地や裸地の補修による植生の回復

登山道周辺の植生の回復を図るため、崩壊地や裸地を補修するとともに、播種や植樹を実施している。1997年度と1998年度の緊急対策事業として、表尾根線で土留柵、植栽工、植生保護柵等 505 m<sup>2</sup>を先行的に実施し、1999年度から2005年度までの間に、表尾根線、丹沢主稜線、丹沢主脈線など9路線において、登山道沿いの崩壊地や裸地にむしる伏工、土留柵工等 3,156 m<sup>2</sup>を施工した。



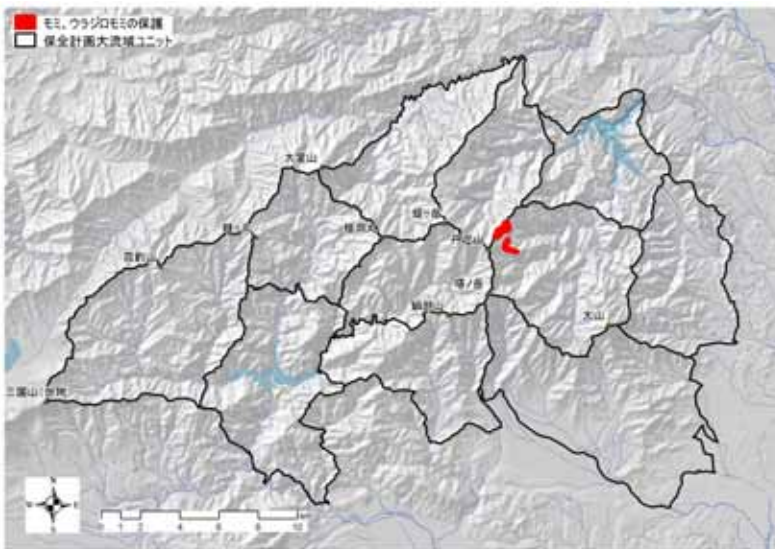
( 7 ) 登山道の一時利用休止と補修による植生の回復

登山道周辺の植生の回復を図るため、登山道にロープ柵など各種工法を組み合わせ設置し、植生の回復を図っている。1997～1998年度に緊急対策事業として大倉尾根線でロープ柵、土留柵など 4.20km を先行的に実施し、1999年度から2005年度の間に、大倉尾根線、表尾根線、丹沢主脈線などにおいてロープ柵や土留柵等 3.42km を設置した。



( 8 ) モミ・ウラジロモミ等の保護

県民参加による森林の保全を図るため、「丹沢の緑を育む集い事業」の一環としてボランティアによりシカの採食からモミ・ウラジロモミ等の樹皮を守るための防護ネット設置を実施している。1998 から 2005 年度にかけて、堂平及び天王寺尾根において、先行的実施も含め 1,017 本にネットを設置し、2004 年度にはモニタリングとネットの付け替えも実施した。



( 9 ) 森林衰退域における植生の回復

森林の衰退域における植生の回復を図るため、「丹沢の緑を育む集い事業」の一環としてボランティアによる植樹等を実施している。1998 年度から 2005 年度までに、大倉尾根花立で植栽 4,186 本、侵食防止マットの設置 148 m<sup>2</sup>及びモニタリングを実施した。また、2004 年度からは、NPO 団体との共催により表尾根三ノ塔周辺で植樹を実施し、2005 年度までに 700 本植栽している。

